



① 平和行進と県民大会

沖縄は、1972年5月15日に日本へ復帰しました。しかし、復帰と同時に在日米軍専用基地の74%集中し、広大な基地が残されました。基地から派生する事件や事故はあとを断たず、演習の激化や爆音公害など日常的に県民は危険にさらされています。そして、「日本国憲法」よりも「日米安保条約」が重要視されている現実が創られています。歴史的視点に立ち、全ての基地を撤去する日までたたかい続けることを県民大会の中で確認しました。

平和行進は、今年で39回目となりました。東・西・南コースの3コースに分かれて3日間(40km)の行程になります。私たちが参加した南コースでは、平和記念公園やひめゆりの塔、魂魄の塔など、沖縄戦最後の激戦地となった南部路を行進し、沖縄戦の追体験をしました。



SEALDs RYUKYU(石橋さん)



② SEALDs RYUKYUとの意見交換会

5月16日、「SEALDs RYUKYU (シールズ琉球)」との意見交換会を開催し、SEALDsの活動報告や活動をするにあたって苦悩などを議論しました。

意見交換会の中では、「大学の授業を通して自分に何が出来るのだろうかと考えようになり、SEALDs RYUKYUに参加した」「子どもの未来を守るためには、私たちが行動しなければならぬ」など、自らの転換点等も語っていただきました。また、相手の意見を聞きながら、共に考えていくことや未来をイメージしながら行動することが重要であることを議論しました。

そして、共に悩みを共有出来る仲間がいることを実感するとともに、平和な社会、基地のない沖縄を共に創りだしていくことを参加者全員で確認しました。

青年部が未来を切り拓き、平和な社会を創りだそう！！